

各位

令和5年10月5日
一般財団法人 未来医療推進機構

「未来医療国際拠点」の名称を「Nakanoshima Qross」に決定

～2024年春頃、大阪・中之島に未来医療の国際拠点が誕生～

一般財団法人 未来医療推進機構（理事長：澤 芳樹）は、2024年春頃に大阪・中之島に開業する未来医療国際拠点の名称を「Nakanoshima Qross」（中之島クロス）とし、あわせて、ロゴマークとパーパスを決定しましたので、お知らせします。

なお、当機構では、この名称・パーパスに込めた未来医療の推進への思いを実現する「Nakanoshima Qross」の取り組みについて、国内外の皆さまやメディアの皆さまに対し、積極的な情報発信に努めてまいります。

■名称・ロゴマーク

Nakanoshima **Qross**

（私たちの思い）

- 医療に関する様々なこと、多様な人々、価値観が交わり、ジャンルを横断し、掛け合わさっていくことで未来の医療を生み出していくという意志や思いをこめた「Cross」に、「Quest/探求」や「Quality/医療の質」などを想起させる「Q」を組み合わせ、「Qross」と名付けました。
- カラーは、「いのちの森」をコンセプトに未来医療と憩いの場を表現するため、緑色の中でも美しく洗練されて先進的な色を使用しています。

■パーパス

**未来の医療をみんなでつくる。
世界のあたりまえにする。**

（私たちの思い）

- Nakanoshima Qross だからこそできる、「あらゆる人々との集積と共創」の意味を「未来の医療をみんなでつくる」の言葉に込めるとともに、Nakanoshima Qross から発信する先進の医療を、日本だけでなく、世界と共有、実装化、普遍化することにより、世界中の人々の希望をかなえるという意味を込めて「世界のあたりまえにする」という言葉で結んでいます。
- Nakanoshima Qross では、未来の医療を形にし、それをあたり前にしていくための取り組みを、みなさんと進めていきたいと考えています。

■Nakanoshima Cross の特徴

Nakanoshima Cross は、医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する、他に類を見ない未来医療の産業化拠点です。

2019年に21社の民間企業等と大阪府で設立した、一般財団法人未来医療推進機構が核となり、拠点形成を進めています。

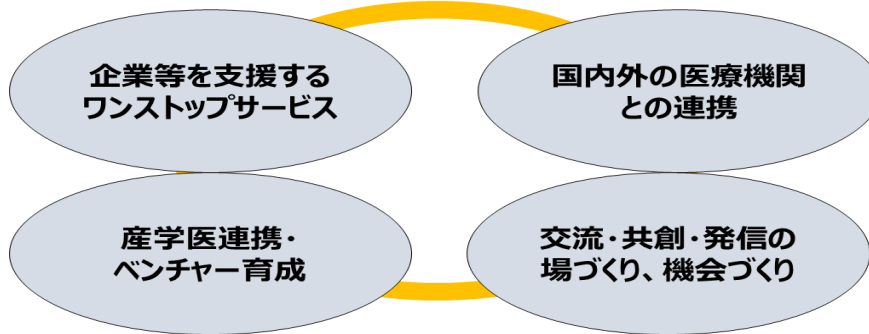
当拠点は、「未来医療 MED センター」「未来医療 R&D センター」「中之島国際フォーラム」の3つの施設（エリア）で構成されており、それぞれ未来医療の「実践」「創造」「共有」の役割を持っています。

入居する企業や医療機関等がそれぞれ連携することで、「実践」「創造」「共有」の役割をサイクルさせ、再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能(AI)、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」における産業化を推進させること、及び国内外の患者に対する「未来医療」の提供を通じて、国際貢献を推進させることをめざします。

なお、本拠点の取り組みは、2023年5月に経済産業省から、質の高い再生医療の産業化を促進する場として「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」の採択を受けております。

産業化推進プラットフォーム

医療機関、企業・ベンチャー等が一つの建物で有機的に連携



(イメージパース)



2021.5 時点のイメージパースであり、今後変更の可能性があります。

(提供: 中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者)

■Nakanoshima Gross の施設概要

【所在地】

大阪市北区中之島4丁目

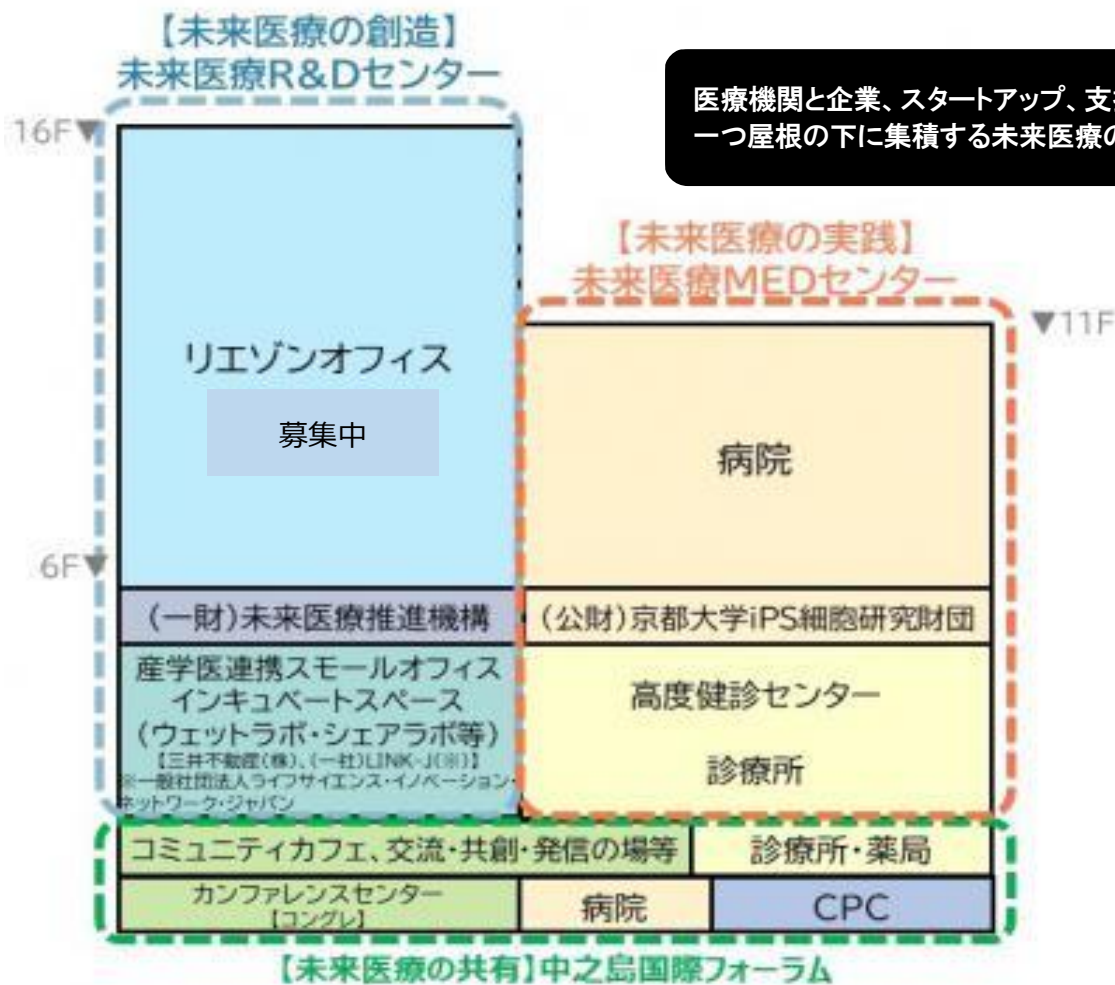
【施設概要】

・敷地面積：8,600 m² ・延床面積：57,075 m² ・階数：地上16階

【施設構成】

- 国内でも類を見ない再生医療に関わるメディカルコンプレックス
- 産学医連携スモールオフィス・インキュベートオフィス
- 中之島フォーラム（カンファレンスセンター等）
- （公財）京都大学 iPS 細胞研究財団（CiRA_F）が運営する iPS 細胞製造施設
- リエゾンオフィス（募集中）

【施設構成（断面イメージ）】



(場所)

徒歩圏にビジネス、文化、宿泊等の機能が集積し、都心でありながら豊かな自然も有するエリアに立地。なにわ筋線開業（2031年春予定）に伴い、更なるエリアポテンシャルの向上が期待。



【交通アクセス】

- ・なにわ筋線「(仮称)中之島駅」※
 - ・京阪中之島線「中之島駅」「渡辺橋駅」
 - ・地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」
 - ・JR 大阪環状線「福島駅」東西線「新福島駅」
 - ・阪神本線「福島駅」
- 隣接予定
徒歩約 5 分
徒歩約 10 分
徒歩約 10 分
徒歩約 10 分

※ なにわ筋線 2031年春開業目標
新大阪、うめきた、夢洲等の新しい都心エリア、
関西国際空港、京都等の広域エリアに通じる
新路線（開業後は関西国際空港まで
約 40 分）

【近隣施設（中之島エリア内）】

- ・大阪大学中之島センター
- ・大阪市立科学館
- ・大阪中之島美術館
- ・国立国際美術館
- ・リーガロイヤルホテル
- ・大阪府立国際会議場

※本発表記載内容は、今後の検討・協議などにより、変更となる場合があります。

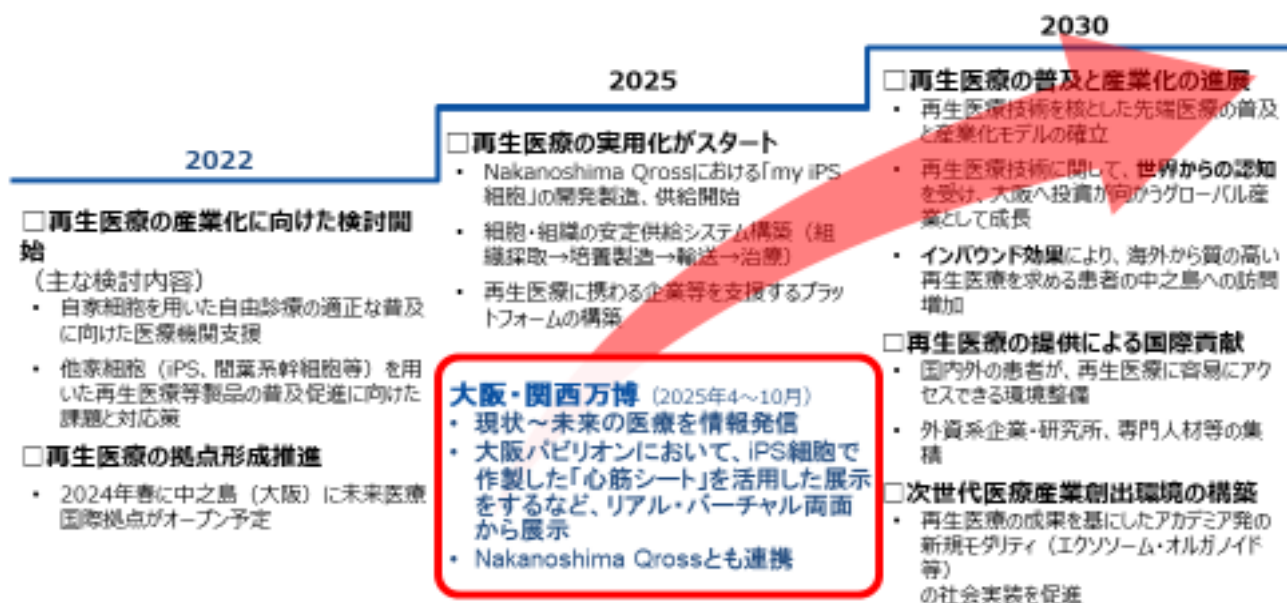
<本件に関するお問い合わせ先>

一般財団法人 未来医療推進機構 総務・財務部(広報) 担当:三川・大平
電話番号:06-6229-2551(株式会社コングレ)
FAX:06-6229-2552
メールアドレス:pr@miraikiko.jp

Nakanoshima Qross におけるおもな取組み

「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」申請資料より（一部加工）

Nakanoshima Qrossは再生医療の実用化・進展・国際貢献としてのトリガープロジェクト！



2030年にNakanoshima Qrossで実現する再生医療

※ 太字を2030年までに実現

エビデンスレベルの高い再生医療の社会実装

- 大阪大学との連携体制のある医療機関で、多様な疾患領域に対する再生医療を提供
- 保険外診療下においても有効性・安全性のエビデンスレベルが担保された再生医療の提供を旨としたモデルプランの構築と普及化 (大阪大学 特定認定再生医療等委員会の質が高く厳密な審査業務との連携強化)
- 再生医療と手術・リハビリ等を組み合わせた高度な治療法を確立・提供

品質を担保した製造・供給体制の確立

- 様々なバイブラインを対象とした製品/技術と、サプライチェーンを確立
- 大阪大学細胞製造コトづくり拠点と連携し、再生医療の製品品質安定に向けた製造データ利活用手法 (QbD*) を実践
- 大阪大学未来医療開発部と連携し、再生医療に対する安心・安全な製造及び品質の評価体制を整備

リバーストランスレーショナル研究の推進

- 大阪大学と医療機関がタッグを組み、リバーストランスレーショナル研究を推進
- エビデンスのある質の高い再生医療の高度化/価格の適正化、民間医療保険の設計・実装を実現
- 再生医療学会のNRMDを活用した日本全国に展開しうるデータ収集・データ活用基盤を整備・運用し、エビデンスの構築に貢献

○ 未来の医療をみんなで作る。世界のあたりまえにする。未来の医療を形にし、新たな希望をつくる。

Nakanoshima Crossが交流・共創・発信をコーディネート



常に交流・共創・発信を活性化する為の取り組みにより、
情報を囲い込むのではなく互いに作り上げるカルチャーの醸成を目指す。

(参考:今後のスケジュール)

- ・ 2024年1月 竣工（竣工後入居企業による施設整備）
- ・ 2024年2月頃 開業イベント（予定）
- ・ 2024年春頃 開業予定（4月：一部先行開業）

Nakanoshima Cross の運営主体

名 称	一般財団法人未来医療推進機構 Organization for Advanced Healthcare Innovation
設 立	2019年11月22日
目 的	再生医療をはじめ、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化の推進及びその提供による国際貢献に寄与することを目的とする未来医療国際拠点を推進するため、核となる支援機関として、その目的に資する事業を行う。
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未来医療の共創（「創造」「実践」「共有」）の実現に資する事業 ・未来医療国際拠点施設の管理・運営に関する事業 ・その他機構の目的を達成するために必要な事業
役 員 等 (50音順) ※R5.10.5現在	<p>理事長 澤 芳樹（国立大学法人大阪大学） 副理事長 海野 真史（シップヘルスケアホールディングス株式会社） 理事 奥山 俊郎（サラヤ株式会社） 笠間 禎浩（株式会社日立プラントサービス） 勝藤 良輔（アース環境サービス株式会社） 金野 徹（アズワン株式会社） 木村 徹（住友ファーマ株式会社） 小林 正和（株式会社レイメイ） 橋本 信一（岩谷産業株式会社） 本間 陽一（ロート製薬株式会社） 三川 圭祐（株式会社コングレ） 渡辺 平太郎（医療法人渡辺医学会） 監事 高宮 進（株式会社三井住友銀行） 評議員 阿部 孝次（公益社団法人関西経済連合会） 金田 安史（国立大学法人大阪大学） 近藤 博宣（大阪商工会議所） 馬場 広由己（大阪府） 廣瀬 茂夫（一般社団法人関西経済同友会）</p>

【理事長紹介(澤 芳樹)】

大阪大学大学院医学系研究科未来医療学寄附講座特任教授、大阪警察病院理事長・院長を務める。40余年に渡り一貫して心臓血管外科の第一線に立ち、心臓血管外科技術の向上はもとより、未来医療の開発や国際医療貢献に寄与。

また、大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部未来医療センターの設立をはじめとした様々な医療機関の設立運営に携わった経験を持つ。再生医療学会理事長として再生医療の産業化を推進した経験から、2023年7月より当機構の理事長に就任。